

あわらの市の 子どもたち

平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

平成 19 年度より実施されている「全国学力・学習状況調査」は、児童生徒の学力や学習状況を分析することで教育施策の成果と課題の検証・改善を図り、学校における教育指導の改善等に役立てられることを目的としています。

この度あわら市教育委員会では、平成 31 年 4 月に実施された調査の結果について公表します。公表する学力は、成長過程の子どもたちの現時点での一面であり、限られた教科の学力や学習状況の一部分を測定するにすぎませんが、知・徳・体の総合的な学力の定着を目指す本市の教育活動を評価するための資料としたいと考えています。

また、児童生徒の学力の向上には、学校と家庭、地域の連携が不可欠です。今回の公表を通して、三者の連携体制をより一層強く築くための一助にしたいと思います。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■調査対象 小学校 6 年の児童及び中学校 3 年の生徒

■調査事項 1 教科に関する調査

・小学校国語、算数 ・中学校国語、数学、英語

2 質問紙調査

・生活習慣や学習環境に関する質問（小・中学校）

3 今年度の調査の特徴

・知識と活用を一体的に問う調査問題

・中学校で英語に関する調査を初めて導入



■教科に関するあわら市の調査結果から

全国・県平均正答率との比較（P はポイント）

5P 以上高い→◎ 0～5P 高い→○ 3P 以上低い→▼ 0～3P 低い→▽

小 6	国との比較	県との比較
国 語	◎	◎
算 数	◎	◎

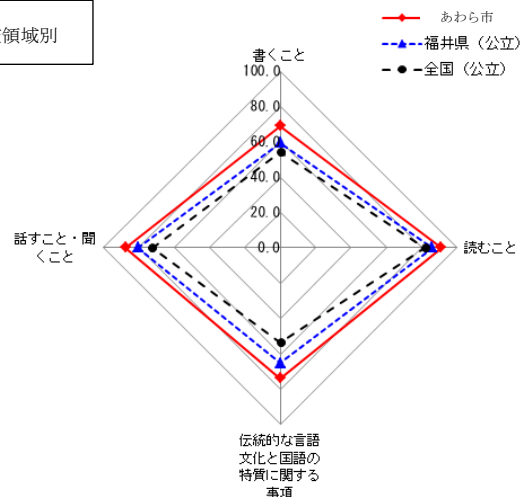
中 3	国との比較	県との比較
国 語	○	▽
数 学	○	▼
英 語	○	○

【小学校 概要】

小学校の平均正答率は、全ての教科において全国や県の平均を上回っています。

特に、国語においては、右の図のように「書くこと」「読むこと」「書くこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」のすべての領域において、高い正答率でした。

小学校領域別



【小学校 教科別の成果と課題】

小学校国語

「良好」な内容

- 目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むこと
- 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問をすること

「課題」となる内容

- 目的や意図に応じて、複数の情報を取り上げて、理由を明確にして自分の考えを書くこと
- 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと

小学校算数

「良好」な内容

- 台形について理解すること

「課題」となる内容

- 計算の順序についてのきまりを理解して計算すること
- 数や式を多面的に考察し、数学的な表現を使って説明すること

【中学校 概要】

国語や数学の平均正答率は、全国平均を上回っています。

今年度初めて導入された英語については、下記の表に示すように、「外国語理解の能力」や「言語や文化についての知識・理解」についての平均正答率は、全国や県よりも高くなっています。

中学校英語 評価の観点	平均正答率(%)		
	あわら市	福井県(公立)	全国(公立)
外国語理解の能力	50.5	48.3	44.7
言語や文化についての 知識・理解	67.2	67.0	64.7

【中学校 教科別の成果と課題】

中学校国語

「良好」な内容

- 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広くすること
- 話合いの話題や方向を捉えて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること
- 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと

「課題」となる内容

- 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと
- 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨を捉えたりすること
- 話合いの話題や方向を捉えて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること

中学校数学

「良好」な内容

- 平行移動の意味を理解し、移動距離を求めること
- 目的に応じて式を変形し、事柄が成り立つ理由を説明すること

「課題」となる内容

- 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること
- グラフ上のY座標の差の意味を事象に即して解釈すること
- 式やグラフを用いて、問題解決の方法を数学的に説明すること

【教科別 成果と課題】

中学校英語

「聞くこと」領域

「良好」な内容

○短い英文を聞いて、情報を正確に聞き取ること

「課題」となる内容

●聞いて把握した内容について、適切に応じること

「読むこと」領域

「良好」な内容

○日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ること

「課題」となる内容

●まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解すること

●書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえること

「書くこと」領域

「良好」な内容

○文の中で適切に接続詞（if）を用いること

「課題」となる内容

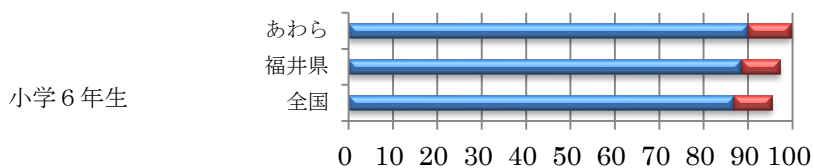
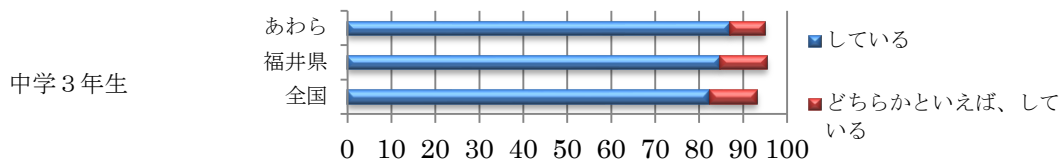
●一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くこと

■児童生徒質問紙調査の結果から

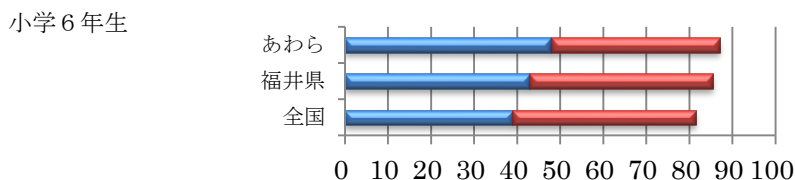
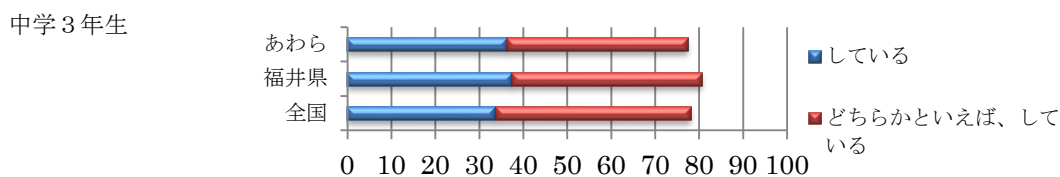
生活習慣

朝食を毎日食べて来るなど規則正しい生活を送っている児童生徒が多いようです。しかし中学生は、同じ時刻に寝ている割合が低くなっています。

○朝食を毎日食べていますか。



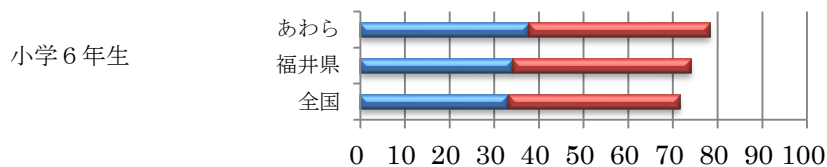
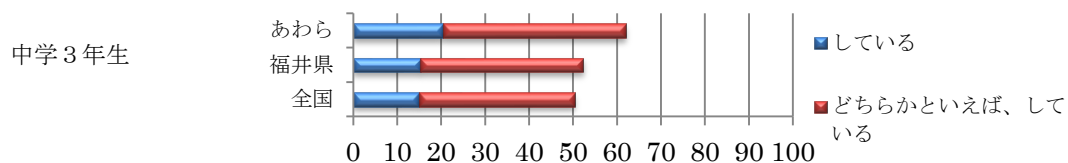
○毎日同じ時間に寝ていますか。



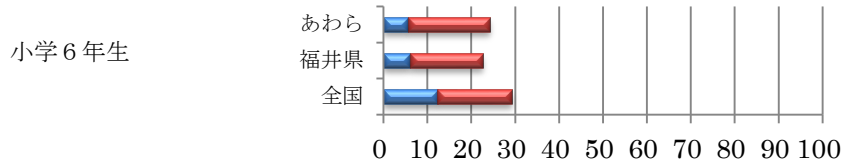
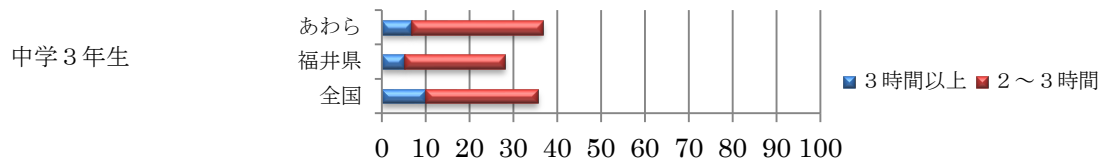
学習習慣

自分で計画的に進んで学習する習慣が身についています。しかし、普段の授業以外での勉強時間や読書時間は、小学生で少なくなっています。

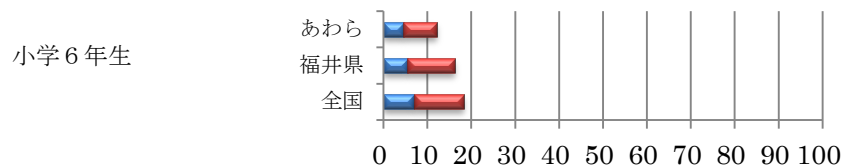
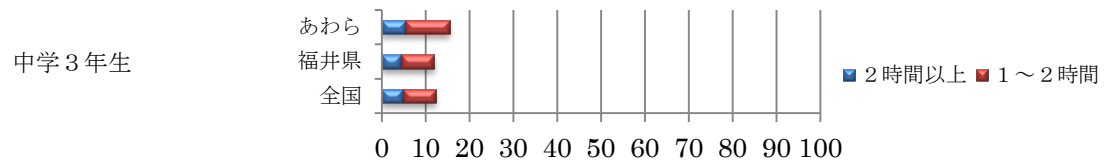
○家で、自分で計画をたてて勉強をしていますか。



○学校の授業以外に、普段、1日あたりどれくらい勉強をしますか。



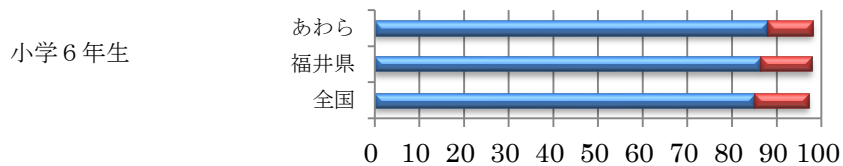
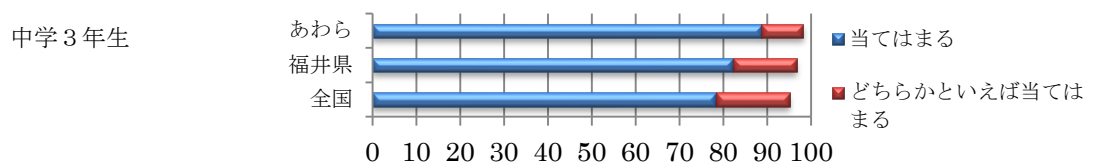
○学校の授業以外に、普段、1日あたりどれくらい読書をしますか。



規範意識

いじめはどんな理由があっても絶対にいけないことです。この質問にすべての児童生徒が肯定できていないことは問題です。

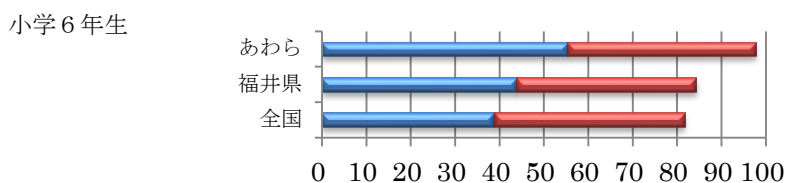
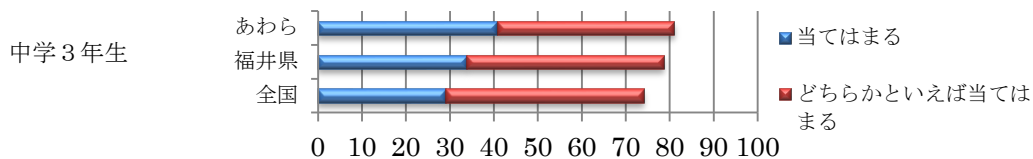
○いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか。



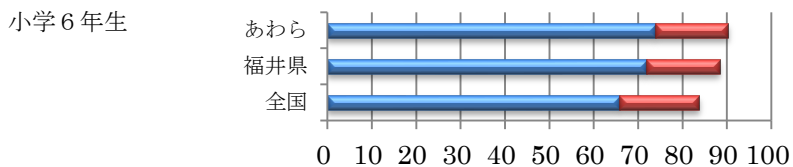
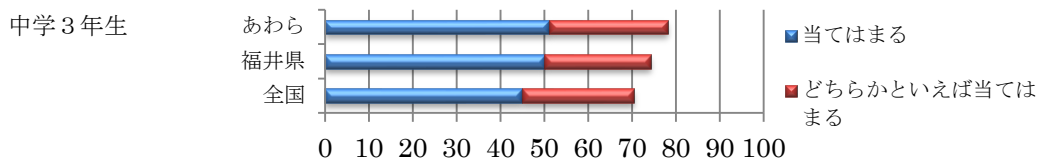
自尊感情

自分に良い所があると思っている児童生徒が約8割です。特に小学生の割合が伸びています。将来の夢や目標を持っている児童生徒は、学年が上がるにつれて減少傾向にあるようです。

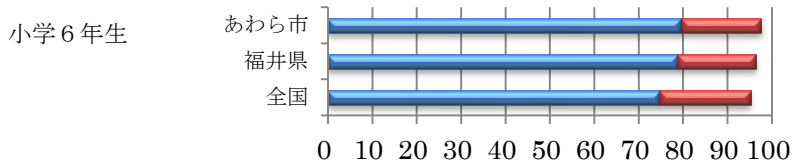
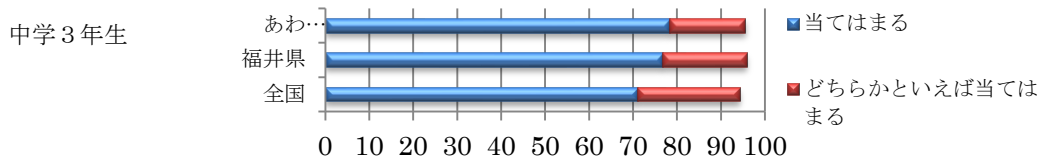
○自分には、よいところがあると思いますか。



○将来の夢や目標を持っていますか。



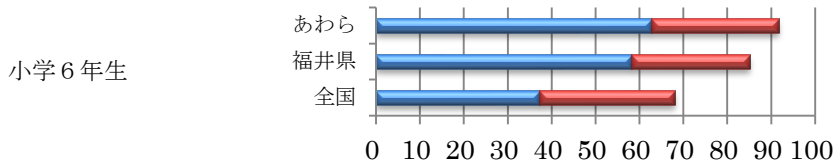
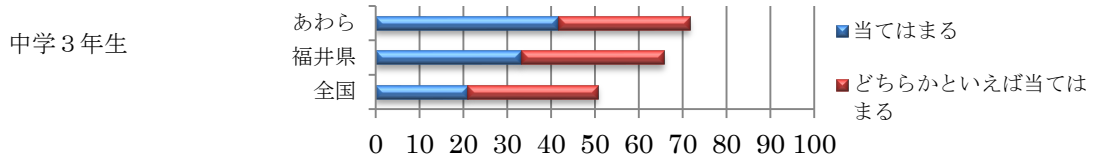
○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



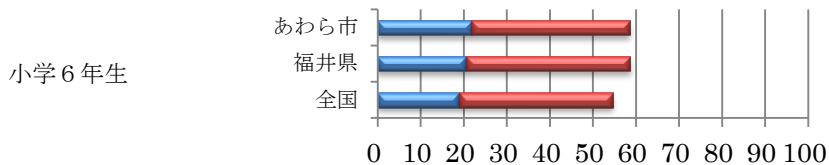
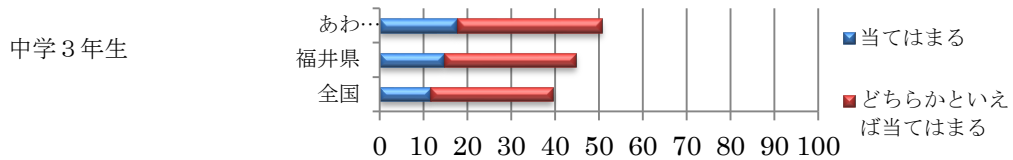
社会性

小学生は地域の行事に積極的に参加していますが、中学生になると少なくなります。地域のために貢献したいという意欲も高まっています。

○今住んでいる地域の行事に参加していますか。



○地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがありますか。



その他

学校が楽しいと感じる児童生徒の割合は高いです。しかし、この質問に肯定できない児童生徒への支援も必要です。

○学校へ行くのが楽しいと思いますか。

